

令和3年度事業報告

【 相談支援事業 】

1 体制

(1) 対象者

障害・病気がある方及びその家族

(2) 開所日及び開所時間

月曜日～土曜日（祝祭日を除く） 9時30分～17時30分

但し、12月29日～1月3日の年末年始は休業

(3) 相談形態

電話、面談、訪問・同行、メール等

2 事業概要

(1) 一般相談支援（秦野市からの委託事業）

ア 福祉サービスの利用援助（情報提供・相談等）に関すること。

イ 事業の促進に係る企画、立案に関すること。

ウ 社会資源を活用するための支援（各種支援施策に係る助言・指導）に関すること。

エ 社会生活力を高めるための支援に関すること。

オ 権利擁護のために必要な援助及び成年後見制度の推進に関すること。

カ 専門機関の紹介

キ その他必要な支援に関すること。

(2) 基幹相談支援センター業務（秦野市からの委託事業）

ア 地域の相談支援事業所で対応することができない個別事例への対応に関すること。

イ 相談支援専門員に係る人材育成に関すること。

ウ 利用者の支援に係る広域的な調整に関すること。

エ 市内相談支援事業者との連絡調整に関すること。

オ 児童発達支援センターとの連携に関すること。

カ その他の関係機関（民生委員、高齢者、児童、保健・医療、教育、福祉、就労等に関する機関等）との連携に関すること。

キ 一般相談（地域移行、地域定着）の促進に関すること。

ク 秦野市障害者支援委員会の運営に関すること。

ケ 秦野市権利保障実践チームの運営に関すること。

(3) 指定特定相談支援、障害児相談支援、一般相談支援（地域移行支援・地域定着支援）

・ サービス等利用計画及び障害児支援利用計画の作成、並びに、継続サービス利用支援、継続障害児利用援助に関すること

・ 入院及び施設入所支援利用者に対する地域移行支援及び地域定着支援計画の作成、相談支援に関すること

(4) 障害支援区分認定調査（秦野市からの委託事業）

・ 障害支援区分認定調査に関すること

3 令和3年度総括

秦野市のご理解のもと、新型コロナウイルス感染予防対策としてのワクチン接種を、エッセンシャルワーカーとして早期に受けることができました。

多くの人が集まるような研修会や連絡会、飲食を伴う行事については、企画の時点で慎重に検討し、障害福祉課と連絡を取りながら進めました。部屋の換気はもちろんのこと、手指消毒、マスク着用、日々の体温、健康チェックを履行し、ワクチン接種に安心することなく感染リスクの軽減に努めました。しかし感染が拡大する中で、家族等の感染により、就業制限となる職員が数名現れました。

一般相談支援については、昨年度並みの相談実績となりました。障害問わず、福祉サービスの利用に関する相談が多く、グループホームが市内外に新設されていること、就労継続支援B型事業所の利用、居宅介護を求める相談が増えています。また、生活する中で生じる精神的不安の解消、家族・人間関係に関する相談は、解消しきれない継続的な相談支援となり、傾聴や助言等による対応を繰り返しています。不安までは行かない、日常的なつながりを求めてくる電話相談もあります。市外から転入される方々への情報提供やその後の支援、障害手帳を所持していない方、匿名の方への相談についても対応しています。福祉サービスに繋がらない方々が多く、当所の地域活動支援センターや就労班とも連携して対応する機会も多くなっています。

基幹相談支援センターでは、相談支援事業所等連絡会を通じ、秦野市の相談支援体制について検証し、秦野市障害者懇話会を通じて秦野市障害者支援委員会に報告書を提示しました。基幹相談支援センター研修会は、他市の相談支援事業の状況についてシンポジウム形式を企画しましたが、2回共に、コロナウイルス感染拡大により中止となりました。個別事例では、触法、医療機関からの退院に向けての調整、高齢者支援センターと障害の疑いのある家族、こども家庭支援課・児童相談所とは要保護対策児童やその家族、障害児入所施設からの居住系サービスへの移行等に対応しています。

新規の相談も増え、行政、関係機関、知人等からの紹介のほか、インターネットで調べて連絡をしてくる方もおり、他県他市の方からの電話をいただく事もあります。

指定特定相談については、市内では新規の計画相談の受け入れが厳しい状況ですが、障害福祉課との調整の中で複数名の新規の方の受け入れをしています。継続的には、複数のサービス等が必要で支援が困難な方、他市でのサービスを受けている方が主です。計画相談の方の日常的に繋がりを求める電話等での対応もしています。モニタリングについては、本人の利用状況を確認することを原則とし、市内外の事業所に訪問しています。

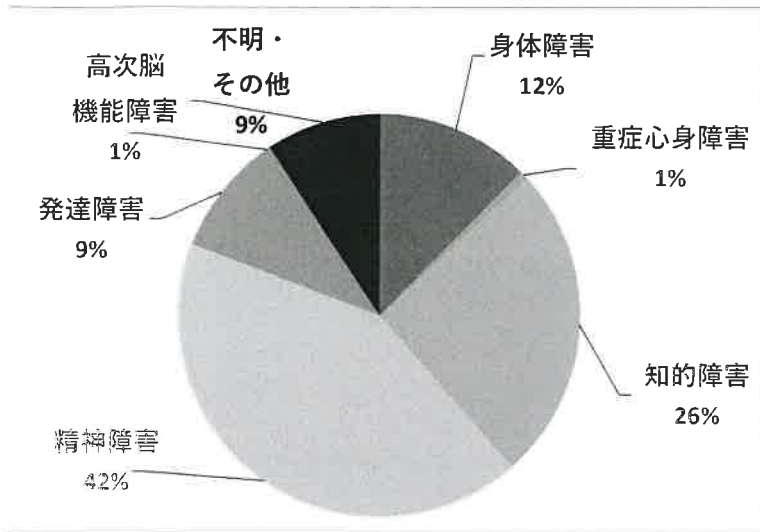
障害者支援区分認定調査については、新規で障害支援区分が必要となる養護学校高等部の生徒や初めての介護給付を受ける方の調査や更新の方への調査を行っています。

4 事業内容

(1) 指定委託相談支援事業活動実績

a. 相談支援を利用した障害者等の実人数

	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	不明・その他	計
障害者	36	2	74	123	27	2	27	291
匿名	11		0	9	1	1	7	29



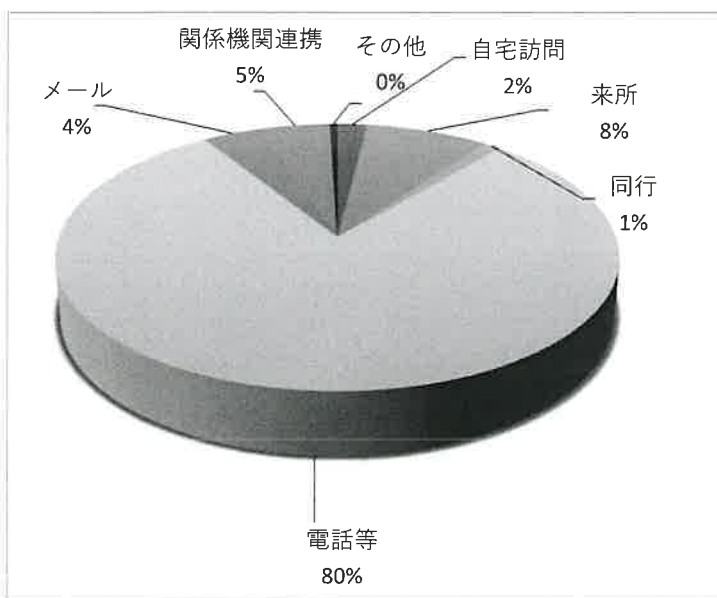
身体障害、知的障害、発達障害の割合が上がり、精神障害の割合が約40%となった。

匿名についてはデータに反映していないが、身体障害の割合が増えてきている。

【令和2年度実績】 合計 291人
精神障害58%、知的障害21%、身体障害6%、発達障害5%、高次脳機能障害1%、その他9%

b. 支援方法（延べ件数）

	自宅訪問	来所	同行	電話等	メール	関係機関連携	その他	計
件数	84	348	47	3,400	167	195	22	4,263



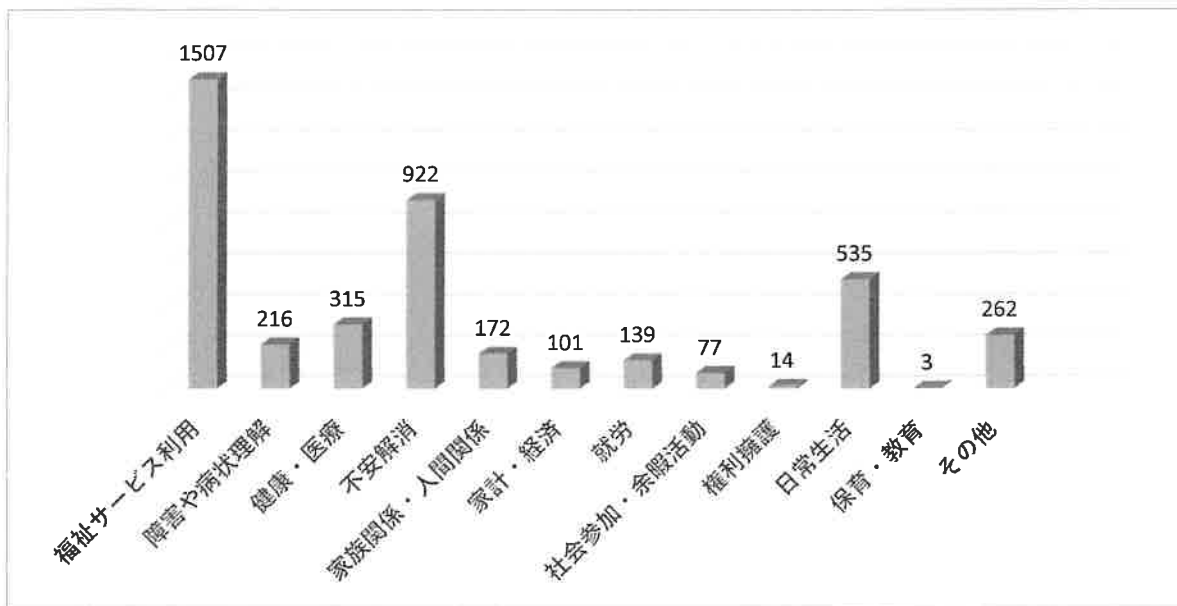
件数は前年度比95.8%だが、件数としては関連機関連携や自宅訪問、同行が増えておりアウトリーチによる支援が増え、時間を要している。

【令和2年実績】 合計 4,451件
電話等79%、来所13%、関係機関連携4%、自宅訪問2%、同行1%、メール1%

C. 支援内容

※ 支援内容については主となる支援を1件としている

	福祉サービス利用	障害や病状理解	健康・医療	不安解消	家族関係・人間関係	家計・経済		
件数	1507	216	315	922	172	101		
	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	日常生活	保育教育	その他	計	
件数	136	77	14	535	3	262	4,263	



【令和2年度実績】 合計 4,451件

福祉サービス利用984件、障害や病状理解437件、健康・医療353件、不安解消1546件、保育・教育0件、家族関係・人間関係215件、家計・経済100件、就労176件、社会参加・余暇活動123件、権利擁護23件、その他494件

件数としては微減であるが、不安解消と日常生活を含めれば、全体のバランスとしては昨年度並みである。福祉サービスの利用の相談が35%を占めており、サービスにつながった後の支援が指定特定相談の実績に影響することとなる。

< 参考資料 > 委託相談月別実績表

委託相談実績

単位：名

	相談件数	実人員	匿名不明	男	女	不明	精神	知的	身体	発達	重複	高次脳	不明	その他	計
4月	363	81	1	44	38	0	36	21	9	11	0	1	4	0	82
5月	291	70	0	34	36	0	32	18	6	10	0	1	3	0	70
6月	400	89	11	51	48	1	40	20	18	10	0	1	8	3	100
7月	319	69	1	41	28	1	33	14	10	10	0	0	3	0	70
8月	373	80	2	49	32	1	36	20	11	8	1	1	1	4	82
9月	373	80	3	44	39	0	37	15	15	7	3	1	5	0	83
10月	364	82	6	56	31	1	45	13	13	8	2	2	3	2	88
11月	340	82	4	50	35	1	44	16	10	8	1	0	6	1	86
12月	302	82	1	47	36	0	41	18	9	9	2	2	0	2	83
1月	386	81	4	51	34	0	46	19	8	9	1	0	1	1	85
2月	365	81	2	45	38	0	40	22	8	7	1	1	2	2	83
3月	388	79	2	43	37	1	38	20	4	10	2	0	3	4	81
計	4,264	956	37	555	432	6	468	216	121	107	13	10	39	19	993

支援方法

単位：名

	電話	来所	メール	自宅訪問	関係機関訪問	同行訪問	その他	計
4月	299	29	9	5	11	3	5	361
5月	233	28	8	6	11	2	1	289
6月	330	33	9	3	21	2	2	400
7月	261	26	11	7	14	1	2	322
8月	284	36	23	12	15	2	1	373
9月	289	17	32	13	12	8	2	373
10月	269	26	24	9	25	10	1	364
11月	260	34	10	8	22	5	1	340
12月	247	25	2	4	17	5	2	302
1月	303	29	23	8	14	5	4	386
2月	302	31	5	9	16	2	0	365
3月	323	34	11	0	17	2	1	388
計	3,400	348	167	84	195	47	22	4,263

相談内容

単位：名

	福祉サービス 利用	障害・病状 について	健康 医療関連	不安解消 情緒不安定	保育 教育	家族関係 人間関係	家計 経済	就労	社会参加 余暇活動	権利擁護	日常生活	その他	計
4月	103	21	32	93	1	3	1	21	7	2	19	58	361
5月	83	15	19	71	0	13	5	27	5	0	42	9	289
6月	132	28	25	113	0	21	12	16	6	4	36	7	400
7月	109	14	24	76	0	3	10	12	3	1	51	19	322
8月	100	28	27	89	0	8	11	4	3	4	64	35	373
9月	129	21	22	74	0	20	5	5	24	1	58	14	373
10月	155	9	19	61	0	18	6	9	4	1	48	34	364
11月	137	22	23	57	0	8	5	15	2	1	48	22	340
12月	127	15	15	48	0	25	13	6	2	0	43	8	302
1月	165	9	44	58	0	16	14	6	6	0	55	13	386
2月	127	10	46	83	0	19	6	4	3	0	42	25	365
3月	140	24	19	99	2	18	13	14	12	0	29	18	388
計	1,507	216	315	922	3	172	101	139	77	14	535	262	4,263

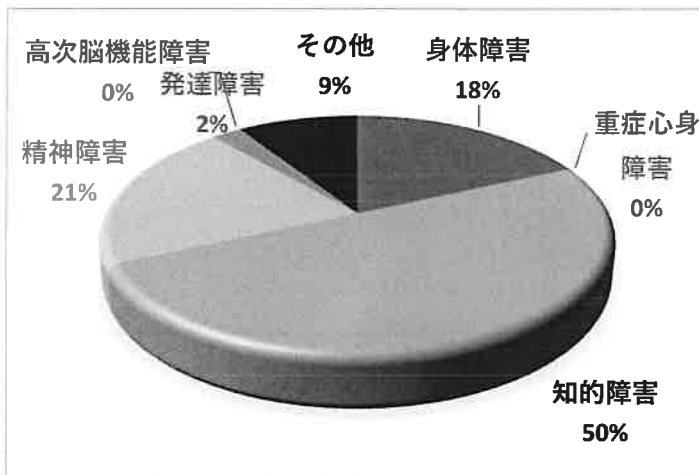
(2) 基幹相談支援センター業務（委託）

個別事例、地域支援件数等

基幹相談支援センターとして、地域の相談支援事業所に対応することのできない個別事例への対応及び、市内相談支援事業所の連絡調整や相談支援専門員の人材育成等を目的に、相談支援事業所等連絡会を開催しました。

a. 相談支援を利用した障害者等の実人数

	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	計
障害者	8	0	16	8	0	0	3	35
障害児	0	0	6	1	1	0	1	9
計	8	0	22	9	1	0	4	44



計画相談支援事業所の支援困難事例等に対するアドバイザー及び計画相談へのつなぎ役として対応しました。

【令和2年度実績】 合計6人
知的障害50%、
精神障害33%、発達障害17%

b. 支援方法

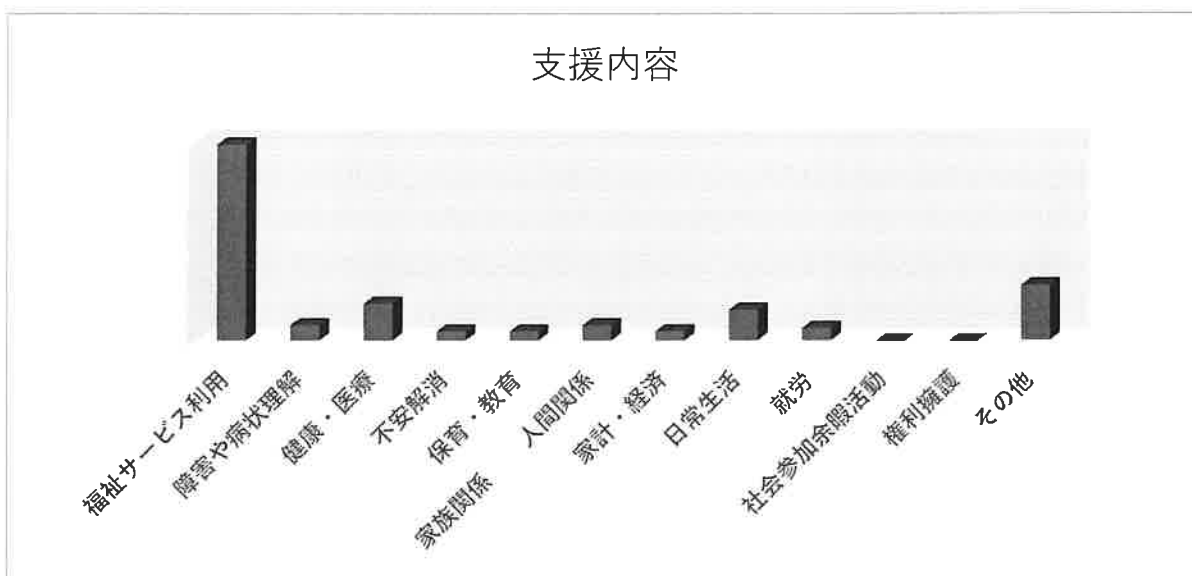
	訪問	来所	同行	電話等	個別支援会議	関係機関連携	その他	合計
件数	13	7	1	75	2	7	104	209

ケア会議の開催や出席、関係機関との連絡調整等を中心に支援を行いました。個別支援については、委託相談との兼ね合いに整理をつけることとして取り組みました。

【令和2年度実績】 合計 10件
訪問3件、来所0件、同行0件、電話等7件、ケア会議0件、関係機関連携0件

C. 支援内容

	福祉サービス利用	障害や病状理解	健康・医療	不安解消	保育・教育	家族関係 人間関係	家計・経済	日常生活	
件数	64	5	12	3	3	5	3	10	
	就労	社会参加 余暇活動	権利擁護	その他					合計
件数	4	0	0	18					127



【令和2年度実績】 合計 10件
 福祉サービス利用5件、障害や病状1件、家族関係・人間関係3件、
 その他1件

(3) 権利保障実践チーム実績報告

1 件数

実人数 3名 (延べ 23名)

※昨年度：実人数 24名 (延べ 83名)

2 相談内容

内容	権利侵害	権利擁護	支援困難	成年後見	周知活動	計
件数	0	14	9	0	0	23

3 考察

(1) 周知活動について

コロナ禍の影響もあり、市内事業所訪問については、感染予防の為、自粛した。また、会議や研修会は中止になることもあり、思うような周知活動を行うことが出来なかった。

(2) 相談内容について

コロナ禍での外出制限に伴い、精神的に不安定となっていた方について、臨床心理士に助言をもらい、支援の見直しをしたことで、状態が改善した。

その他、親族に連れられて本人名義のカードを作ったが、家族にカードを使われ、債務を負うことになった方について、弁護士を派遣し、本人、支援者が実行可能な解決方法を検討した。

(4) 障害支援区分認定調査

調査員の分担については、秦野市が年度当初に一括して委託している相談支援事業所等へ依頼をしており、調査員の派遣による認定調査を実施しました。

秦野市からの依頼数は、115 件で、秦野市内外を含めて 106 件実施し、内訳は、新規 57 件、更新 49 件でした。

すでにサービスを利用することが決まっているために早急に区分が必要な方や、連絡調整や調査方法に工夫が必要な方もいます。また、新規については、日程調整の時点で調査の必要が無くなる事案が 6 件、更新についても 3 件必要の無い事案もあり、制度に関する周知の必要性を感じました。

(5) 地域生活支援拠点整備

地域生活支援拠点としての一機能である「緊急時の受け入れ・対応」に関して当事者団体(委員会・支部会)への周知をすすめ、20名登録しています。令和4年度は、登録者の拡大を目指し、より一層の周知活動をすすめ、継続して体制整備しつつ実践につなげていきます。

基幹相談支援センターとして出席した会議等

1 湘南西部障害保健福祉圏域相談支援ネットワーク会議

回数	開催日	場所	内容
1	令和3年6月11日	Web(zoomミーティング)	1 神奈川県障害者自立支援協議会、 湘南西部圏域自立支援協議会について 2 昨年度の実績及び今年度の取り組み予定について 3 各市町の状況について
2	令和3年12月8日	Web(zoomミーティング)	1 報告事項 ・湘南西部圏域ナビゲーションセンター事業活動実績・予定 ・圏域自立支援協議会、市町村自立支援協議会に実施状況 ・新型コロナウイルスに関して 2 各市町村の状況について 3 意見・情報交換

2 まちかど福祉相談室（秦野市社会福祉協議会主催）

開催日	場所	内容
月1回	おねふれあい館	社会福祉協議会、大根地域高齢者支援センターと共に、 大根地区の方々への相談支援

3 秦野市成年後見ネットワーク連絡会

1	令和3年5月26日	秦野市保健福祉センター	1 令和2年度秦野市成年後見利用支援センター事業報告 2 中核機関の設置及び令和3年度秦野市成年後見利用支援センター事業計画 3 その他 ・成年後見制度における後見等開始申立書等の統一書式の改定 ならびに、任意後見監督人選任申立書の統一書式について
2	令和3年12月8日	はだのクリーンセンター	1 中核機関設置について 2 権利擁護支援検討会について 3 おひとり様安心サポート事業（仮称）について 4 その他 ・成年後見制度における「診断書の書式」及び「成年後見制度 における診断書作成手引・本人情報シート作成の手引き」の 改定について

4 養護学校連絡会

1	令和3年5月24日	ばれっと・はだの	秦野養護学校、平塚養護学校、障害福祉課との高等部3年生の進路の 方向性の共有化
2	令和3年8月26日	ばれっと・はだの	1 養護学校高等部3年生の動向 2 福祉サービス利用者について 3 就労希望者について
3	令和3年12月14日	ばれっと・はだの	1 高等部3年生計画相談優先順位 2 次年度からの連絡会のついで

5 医療的ケア児等コーディネーターに関する打ち合わせ

1	令和3年5月26日	ばれっと・はだの	医療的ケアコーディネータ配置に向けての意見交換
---	-----------	----------	-------------------------

6 平塚養護学校との連携

1	令和3年6月30日	平塚養護学校	障害支援区分認定調査区員研修会講師
2	令和3年11月26日	平塚養護学校	肢体不自由教育部門生徒の進路に関わる連絡会

7 平塚児童相談所

1	令和4年2月21日	Web(zoomミーティング)	施設入所中児童の地域移行にかかる連絡会議
---	-----------	-----------------	----------------------

8 その他

- ・秦野市要保護児童対策協議会（個別ケース検討会）
- ・施設入所児童の地域移行に係る連絡会（平塚児童相談所）
- ・高齢者支援センター主催「地域ケア会議」
- ・精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム検討会議
- ・弘済学園地域移行支援カンファレンス
- ・西民児協学習会講師
- ・秦野市支援教育における専門相談にかかる特別支援学級訪問
- ・インクルーシブ教育研修会（オンライン研修会）

相談支援事業所等連絡会（対象：相談支援専門員等）

回数	実施日	内容
1	令和3年4月12日 14:00～16:00 秦野市保健福祉センター第4会議室	【情報交換】 ・報酬改定について ・令和3年度の連絡会の取り組みについて
2	令和3年5月19日 14:00～16:30 秦野市保健福祉センター第4会議室	【事例検討】 ・本人が望む生活を実現させるための支援と家族へのアプローチ
3	令和3年6月16日 14:00～16:00 秦野市保健福祉センター第4会議室	【相談支援体制】 ・新規の受け入れについて
4	令和3年7月15日 14:00～16:00 南ヶ丘公民館多目的ホール	【相談支援体制】 サービス管理者等との合同開催 ・計画相談について
5	令和3年9月15日 14:00～16:00 Web開催	【相談支援体制】 ・計画相談体制について
6	令和3年10月13日 14:00～16:00 秦野市保健福祉センター第4会議室	【相談支援体制】 ・計画相談における新規の受け入れについて
7	令和3年11月17日 14:00～16:00 秦野市保健福祉センター第4会議室	【事例検討】 ・家族への支援アプローチ 【情報交換】 相談支援の近況について
8	令和3年12月17日 14:00～16:30 秦野市保健福祉センター第4会議室	【相談支援体制】 ・セルフプランについて ・相談支援の近況について
9	令和4年2月15日 14:00～16:00 Web開催	【相談支援体制】 ・セルフプランについて ・コロナ禍における相談支援の状況について
10	令和4年3月14日 10:00～11:30 秦野市保健福祉センター多目的ホール	【相談支援体制】 サービス管理者等との連携 ・相談支援事業所・サービス提供事業所との合同開催

基幹研修会（対象：相談支援専門員、サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者等）

回数	開催日	内容
1	令和3年8月31日 13:30～16:30 秦野市本町公民館	中止
2	令和3年8月31日 10:00～12:00 秦野市保健福祉センター多目的ホール	中止

相談支援事業所訪問 5事業所 5名の相談員と面談

相談支援専門員現任研修におけるインターバル研修の対応 6事業所 12名来所

秦野市障害者支援懇話会

1 総合部門

回数	実施日	内容
1	令和3年5月12日 ぱれっと・はだの	・各部門の活動の進捗状況、検討事項について
2	令和3年8月10日 ぱれっと・はだの	・各部門の活動の進捗状況、検討事項について ・秦野市障害者支援委員会への報告事項、検討事項について ・障害福祉課より
3	令和3年11月2日 ぱれっと・はだの	・各部門の活動の進捗状況、検討事項について ・秦野市障害者支援委員会への報告事項、検討事項について ・障害福祉課より
4	令和4年2月28日 ぱれっと・はだの	・各部門の活動の進捗状況、検討事項について ・秦野市障害者支援委員会への報告事項、検討事項について ・障害福祉課より

2 相談部門

回数	実施日	内容
1	令和3年4月20日 ぱれっと・はだの	・相談、情報提供体制の整備について ・ケアマネジメント体制の整備について ・支援委員会へ提言について
2	令和3年7月28日 ぱれっと・はだの	・相談、情報提供体制の整備について ・ケアマネジメント体制の整備について ・支援委員会へ提言について
3	令和3年10月22日 ぱれっと・はだの	・相談、情報提供体制の整備について ・ケアマネジメント体制の整備について ・支援委員会へ提言について
4	令和3年12月13日 ぱれっと・はだの	・相談、情報提供体制の整備について ・ケアマネジメント体制の整備について
5	令和4年2月4日 ぱれっと・はだの	・相談、情報提供体制の整備について ・ケアマネジメント体制の整備について
6	令和4年3月11日 ぱれっと・はだの	・相談支援事業所等連絡会の実施について ・次年度引継ぎ事項

3 就労部門

回数	実施日	内容
1	令和3年7月30日 希望の丘はだの交流ホール	・今年の活動方針について
2	令和3年10月14日 希望の丘はだの交流ホール	・今年度の活動について
3	令和4年3月9日 希望の丘はだの交流ホール	・研修・セミナー開催について ・次年度への申し送り事項の確認

4 地域共生部門

回数	実施日	内容
1	令和3年4月13日 秦野伊勢原医師会1階研修室	・自治会との関わりについて ・要配慮者用ビブスの配布について ・防災課との連携について ・住まいの問題について ・当事者連絡会より
2	令和3年7月20日 秦野伊勢原医師会1階研修室	・自治会との関わりについて ・要配慮者用ビブスの配布について ・防災課との連携について ・住まいの問題について ・当事者連絡会より
3	令和3年10月20日 秦野伊勢原医師会1階研修室	・自治会との関わりについて ・要配慮者用ビブスの配布について ・防災課との連携について ・住まいの問題について ・当事者連絡会より

4-2 当事者団体懇談会

1	令和3年6月9日 ぱれっと・はだの	<ul style="list-style-type: none"> ・地域共生支援センターについて ・各団体から地域共生についての意見等 ・地域共生懇話会から当事者連絡会へ ・支援委員会・地域共生懇話会へ
2	令和3年6月10日 ぱれっと・はだの	<ul style="list-style-type: none"> ・秦野市防災対策について ・各団体から地域共生についての意見等 ・ピアサポーターから活動内容等の紹介 ・地域共生懇話会から報告

5 福祉サービス部門

5-1 短期入所（緊急時対応）に関するNW構築に向けた会議

回数	実施日	内容
1	令和3年8月18日 オンライン開催	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の支援体制 ・地域生活拠点整備の状況について
2	令和3年11月19日 丹沢自律生活センター会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の支援体制、地域生活拠点機能の充実 ・地域生活支援事業の充実

6-1 こども部門医療的ケア児支援者情報連絡会

回数	実施日	内容
1	令和4年2月2日 オンライン開催	<ul style="list-style-type: none"> ・県の取り組み・情報提供 ・秦野市における医療的ケア児等コーディネーター及び今後の連絡会 ・意見交換

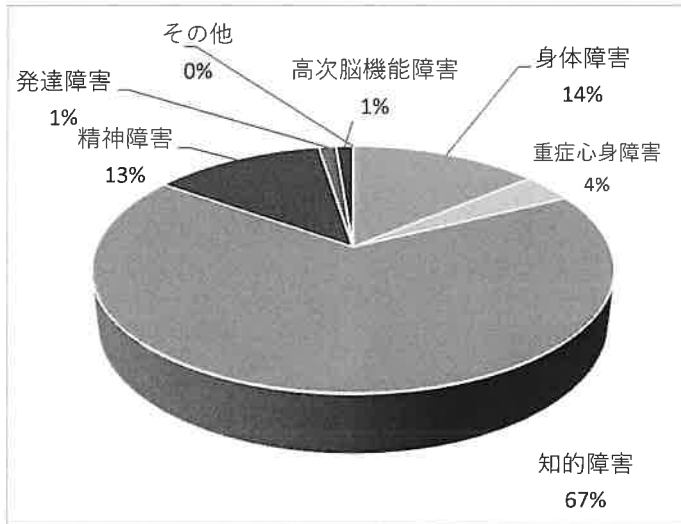
秦野市障害者支援委員会

回数	実施日	内容
1	令和3年5月25日 秦野市役所教育庁舎3階大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・日中サービス支援型共同生活援助の新設について ・秦野市障害者支援委員会懇話会部門報告について ・第6期秦野市障害福祉計画・第2期障害児福祉計画について ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築 ・湘南西部障害者保健福祉圏域地域生活ナビゲーションセンター活動報告について ・令和3年度障害福祉関係予算について ・相談支援事業の報告について ・就労支援事業の報告について ・障害者虐待防止の報告について
2	令和3年11月16日 秦野市役所教育庁舎3階大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・秦野市障害者支援懇話会部門報告について ・湘南西部障害者保健福祉圏域地域生活ナビゲーションセンター活動報告について ・第6期秦野市障害福祉計画・第2期障害児福祉計画について
3	令和4年3月24日 秦野市役所教育庁舎3階大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・秦野市障害者支援懇話会部門報告について ・湘南西部障害者保健福祉圏域地域生活ナビゲーションセンター活動報告について ・第6期秦野市障害福祉計画・第2期障害児福祉計画について

(6) 指定特定相談支援事業

a. 相談支援を利用した障害者等の実人数

	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	計
障害者	11	3	51	10	1	1	0	77
障害児	0	0	2	0	0	0	1	3
合計	11	3	53	10	1	1	0	80



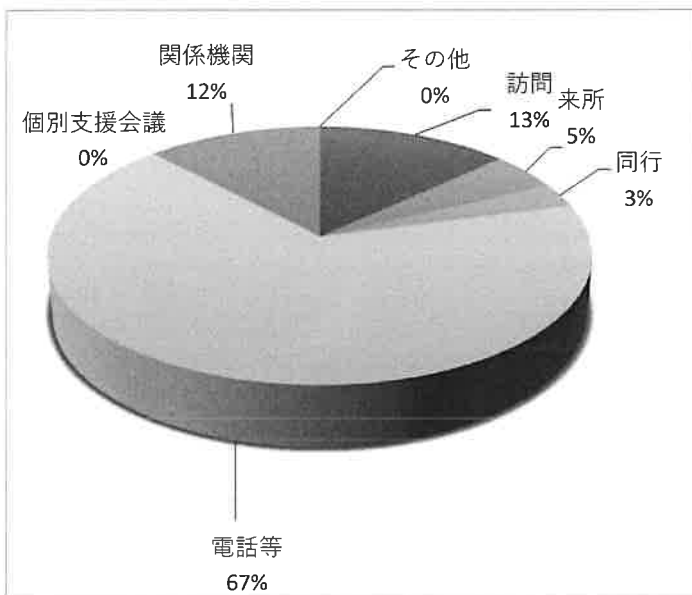
新規利用者は12名。就労、介護保険への移行等で終了した人は5名。
知的障害の割合が65%を占めています。

【令和2年度年度実績】

合計 73人
精神障害18%、知的障害65%、身体障害11%、発達障害1%、重症心身障害4%、高次脳機能障害1%

b. 支援方法（延べ件数）

	訪問	来所	同行	電話等	個別支援会議	関係機関	その他	計
件数	479	173	107	2,435	2	434	0	3,630



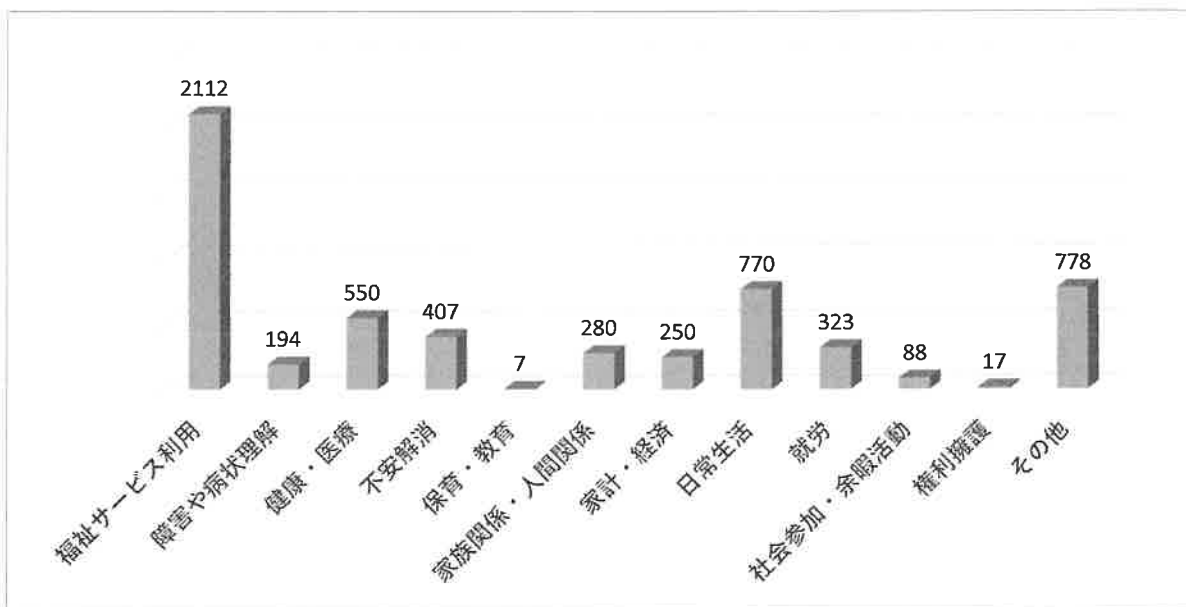
件数は前年度比199.7%。複数のサービスを利用しており調整等の電話対応が多くなりました。
モニタリングについては訪問することを原則としていますが、表には反映されていない市外サービス利用者が17名います。

【令和2年度実績】

合計1,818件
訪問13%、来所5%、電話等59%、関係機関連携16%、同行3%

C. 支援内容

	福祉サービス利用	障害や病状理解	健康・医療	不安解消	保育・教育	家族関係・人間関係	家計・経済	日常生活
件数	2112	194	550	407	7	280	250	770
	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他	計			
件数	323	88	17	778	5,776			



【令和2年度実績】 合計 2,941件

福祉サービス利用1151件、障害や病状理解116件、健康・医療244件、不安解消269件、保育・教育2件、家族関係・人間関係147件、家計・経済87件、日常生活295、就労174件、社会参加・余暇活動77件、権利擁護28件、その他351件

計画相談で対応している人であっても、日常的に不安や悩みを抱えて生活をしており、日常的に相談の電話をかけてくる人が多い状況です。また、複数のサービスを利用するために調整に時間を取られたり、市外のサービスを利用するために、訪問に時間を要しています。

市内では、新規の受け入れが厳しい状況ですが、計画相談が必要な人全てではありませんが新規での受け入れ、セルフプランの作成補助を行っています。

【 地域活動支援センター事業 】

《事業概要》

地域において自立した日常生活や社会生活を営むことができるように創作的活動や生産活動の機会を提供し、社会との交流の促進を図るとともに、日常生活に必要な相談支援を適切かつ効果的に行うよう努めました。

さらに保健・医療・福祉の連携や同じ悩みや症状などを抱えている当事者同士であるピアサポーターの育成及び障害に対する理解を促す普及啓発等に取り組みました。

1 フリースペース運営

秦野市在住の精神障害の方（重複障害の方を含む）を対象として豊かな地域生活を支える一助となるよう「居場所の提供」をしました。

新型コロナウイルス感染症のリスクを避けるため、考え得る可能な限りの対策を行い皆様に安心安全にご利用いただけるよう意識して取り組みました。

《運営体制》

(1) 利用対象

秦野市に住民票のある精神障害（重複障害の方を含む）の方
センターの利用が適当であると市が認めた方

(2) 実施日時

月曜日～土曜日（祝祭日、年末年始を除く）

13時～17時30分

月曜日はオープンスクエアという利用者主体の運営

《事業実績》

(1) 開所日数 291 日

(2) 登録者人数 98 名（男性48名、女性50名）

(3) フリースペース延べ利用者数 1,678 名（男性953名、女性725名）

(4) フリースペース月別実人数利用者数 ※1ヶ月平均利用者数およそ30名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	22	17	15	20	19	20	21	18
女性	12	13	13	9	7	8	13	12
合計	34	30	28	29	26	28	34	30

	12月	1月	2月	3月
男性	22	23	13	16
女性	14	10	8	18
合計	36	33	21	34

2 プログラム開催

秦野市在住の精神障害の方（重複障害の方を含む）を対象として暮らしに彩りを添える余暇支援となるよう、精神障害の方のあらゆるニーズに応えるさまざまなプログラムを行いました。

新型コロナウイルス感染症のリスクを避けるため実施を見合わせたものもありましたが、感染対策を徹底しつつも、可能な限りプログラムを開催することで障害のある方の暮らしが楽しく張りのあるものとなるよう「コロナ時代」に合わせた新たなプログラムの創設、柔軟な運営に努めました。

(1) 利用者ミーティング (4回) & サロンdeおしゃべり (7回) (計11回)

フリースペースでのルールの確認や利用者の意見を聴き円滑な運営を目指しました。
8月以降は利用者同士の交流の場として、また、ピアサポーターと利用者の交流の場として「サロンdeおしゃべり」と名称を改め実施しました。

(2) 健康相談会 (12回)

看護師と管理栄養士が健康の悩みなどの相談に対応し健康管理をサポートしました。

- ・ 体重測定、血圧測定、問診と助言
- ・ 病気・薬についての相談、栄養相談、健康や体調管理に関する様々な相談
- ・ 水無川ウォーキング、健康効果のある歩き方指導、靴の選び方等の助言

(3) 文化系プログラム (26回)

利用者が得意分野を活かし講師となってプログラムを実施しました。ボランティア講師のプログラムやリハビリとしてのSSTの体験を行いました。

頭や手を動かすようなプログラムを実施し、集中力の向上、リラックスやリフレッシュ効果も期待でき、利用者同士のコミュニケーションも図りました。

秘書検定、カザグルマづくり、オリガミで作るメッセージカード、SST体験、羊毛フェルト、雑学に強くなる、みんなで歌おうwithマスク、絵手紙、気軽に音楽、DVD上映会、ちぎり絵、アロマでマスクスプレー
「いもばん」づくり、写経、アロマでリラックス、干支の起き上がりこぼし
ストレス講座、アロマストーンづくり

(4) 野外活動系プログラム (14回)

秦野市の特色を生かしたプログラムを新たに取り入れました。森林セラピーはストレスホルモンの減少、副交感神経の高まりによるリラックス効果等が科学的に検証されています。

地元の財産でもある名水の里巡りも行いました。野外活動は前述の効果以外に気分転換、思考力や想像力の向上、記憶力改善等が期待できます。

森林セラピーロード、秋を探して、桜を見に行こう、名水の里を訪ねて、園芸活動、水無川上流散策、畑で収穫、晩秋を探して、春を探して

(5) 運動系プログラム (11回)

体力づくりや健康維持に役立てました。

ヨガ教室、DVDでセルフヨガ、ダンスエクササイズ

(6) 神奈川県障がい者芸術文化活動支援センターとの事業 (3回)

障害のある人が芸術文化活動に触れる機会をつくる活動として企画された、芸術家によるワークショップへの参加に応募しました。

プロのダンサーによるワークショップに地域活動支援センターの登録利用者も地域の人たちも、みんな一緒に身体を使って表現をする楽しさを体感しました。

10月、11月、12月各1回、土曜日の午後に実施しました。

(7) 社会資源紹介プログラム (4回)

利用可能な社会資源を紹介し利用を促進しました。

- ・就労移行支援事業所「りんく」による就労を目指す方のための勉強会
- ・生活介護事業所「はみんぐ」による身体の体幹を鍛えるピラティスの実技指導

(8) その他

季節のイベントを行いました。

仲間とのコミュニケーションがはかられ、利用者同士の交流も深まりました。

- ・クリスマス会

3 ピアサポート活動支援事業

ピアサポート活動支援事業は、秦野市のピアサポーターに当事者の仲間（ピア）である強みを活かした活躍の場を提供、紹介するとともに、秦野市在住、在勤等の精神障害の当事者（ピア）である方たちそれぞれが求めている自己実現をサポートするさまざまな活動を支援してまいりました。

(1) ピア相談会（毎月第3火曜日定期開催）

ピアサポーターの活動の一環として相談会を開催しました。ピアサポーターが地域の精神障害のある方のさまざまな困りごと等の相談に応じました。

①開催回数	12回
②ピアサポーター活動延べ人数	49名
③相談者延べ人数	22名

(2) ピアのつどい（毎月第1木曜日開催）

ピアサポーターの円滑かつ安定した活動に向け、月1回ピアのつどいを開催しました。ピア学習会修了者を対象に、ピア活動の連絡調整や事前準備、活動の振り返り等を通して、エンパワメントの維持向上を図りました。

主に、相談会及び普及啓発事業での活動についてピアサポーター同士で振り返りや意見交換等を行いました。

①開催回数	12回
②ピアサポーター活動延べ人数	94名

(3) ピア学習会（令和3年8月～令和4年3月）

専門職による講義、ピア（当事者）による体験発表等の学習会を開催し、ピアサポーターの養成を行いました。

令和3年度は前年度の登録サポーターに対してフォローアップ研修を実施しました。

①開催回数	6回
②ピアサポーター継続登録者（現任）	8名

(4) ピア活動普及啓発及び地域交流

ピア活動及び、精神障害者への理解を図るために地域住民、学校、精神科病院等との交流事業を行いました。

①活動回数	20回
-------	-----

②活動内容

- ・みくるべ病院退院促進プログラムでの助言（体験談・経験談から地域生活を伝える）
- ・秦野精神保健福祉家族会のぞみ会総会での体験発表
- ・秦野曾屋高校福祉教育授業での体験発表
- ・秦野総合高校福祉教育授業での体験発表
- ・東京医科歯科大学での体験発表
- ・国際医療福祉大学での体験発表
- ・ボイスピアはだの（当事者・家族による体験発表、交流会）開催
- ・民生委員・児童委員協議会障害部会での体験発表
- ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を検討する協議会への参加
- ・精神科医療機関等連絡会議（web）への参加
- ・フリースペース利用者との交流会（サロンdeおしゃべり・自助会立ち上げ勉強会等）

（5）同行支援 （3回）

秦野市が認めた場合に、精神科病院等の受診や各種申請手続き等の際に、適宜地域活動支援担当の相談員が同行しさまざまなサポートをしました。

（6）ピアサポーターへの支援

秦野市の登録ピアサポーターがそれぞれの病気や障害と向き合い、それぞれのやり方で折り合いをつけながら、ピアとしての活動を継続できるように一緒に考え、体調に配慮しながら活動を調整するなど客観的に見守りました。

あくまでも主体はピアサポーターであると意識しながらその活動を支えました。

《具体例からみえる地域活動支援の効果》

○消費トラブルの被害に遭った利用者への対応について

毎日のようにぱれっと・はだのを利用される方からの相談を受けて消費生活支援センターへの同行等支援をする中で、本人が知らない間に高額な契約をしていたことが判明しました。障害と言葉の壁があることを請求元に主張した結果、支払い請求は取り下げられました。

職員が本人を中心に、消費生活センター、計画相談の担当相談員、生活援護課等と連携を取りながら、同様の消費トラブルに遭わないよう対応を話し合っています。

本人にとって身近な相談先として感じられるという、地域活動支援センターの機能性を活かした支援をしました。

○ピア活動のやりがいについて

金銭面のトラブルを抱え生活上の支援が必要な方や、病状の悪化でなかなか自室から出られないような生活を送っている方でも、ピアサポーターとしての役割に生きがいを見出し、毎月の定例活動等ではとても生き活きと活動しています。

「支援が必要な当事者」とみられる方も、役割をもって自身の経験を活かしながら活躍している姿に、ピア活動の意義が認められました。

4. 広報活動

（1）ぱれっと・はだのミニ（毎月発行）

障害のある方の地域生活に役立つさまざまな情報を発信しました。

障害福祉制度やサービスに関することはもちろんのこと、暮らしが彩り豊かになるような地域に根差した役立つ情報やぱれっと・はだのを身近に感じていただけるような親近感ある紙面づくりを心がけました。

◎主な記事

4月桜の名所 5月障害福祉サービス利用の流れ 6月ピア活動紹介 7月森林セラピー
8月湧水の里 9月ボイスピア 10月ダンスワークショップ 11月戸川公園で森林セラピー
12月活動振り返り 1月利用者文芸作品紹介 2月ヘルプマーク付防災ベスト
3月隠れた桜の名所巡り

(2) ぱれっと・はだのプログラム予定表（毎月発行）

毎月の活動予定を分かりやすく掲載するよう紙面構成を工夫しました。

(3) YOUとピア通信（不定期…第3号、第4号発刊済み）

「ピア」とは「仲間」という意味です。
同じ悩みをもった者同士の対等な支え合いを総称してということもあります。
あなた（YOU）とピアを結ぶ新聞であるという意味を込めてピアサポーターが発案しました。
四半期に一度のピア主体の発刊を目指しました。

(4) ホームページ

一般社団法人 秦野市障害者地域生活支援推進機構の法人ホームページの中に地域活動支援事業のタブ（ページ）を作成しました。
フリースペース、プログラム、ピア活動支援等さまざまな地域活動支援事業をページ上で紹介しました。

5 相談支援（地域活動支援利用登録者のみ集計）

地域活動支援事業として展開しているフリースペース運営（プログラム開催含む）ピア活動支援事業の中で、利用登録者に対して国家資格を有する相談員らが日々の関わりの中で適宜相談対応いたしました。

- (1) 開所日数 293 日
- (2) 相談者実人数 213 名（男性114名、女性99名）
- (3) 支援件数 708 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
電話	38	34	34	42	29	41	42	31
面談	13	18	18	10	15	11	19	15
訪問	0	0	1	0	0	0	0	0
同行	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	51	52	53	52	44	52	61	46

	12月	1月	2月	3月	合計
電話	32	52	34	63	472
面談	24	36	19	33	231
訪問	0	0	1	0	2
同行	0	1	2	0	3
合計	56	89	56	96	708

(4) 相談内容

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
福祉サービス利用	7	4	2	5	9	6
障害・病状について	11	0	5	2	8	5
健康・医療関連	8	10	5	8	6	5
不安解消・情緒不安定	30	39	25	39	28	31
家族関係・人間関係	12	5	15	7	16	11
家計・経済	1	2	1	1	1	0
就労	18	12	7	9	5	11
社会参加・余暇活動	98	74	82	73	75	41
権利擁護	0	0	3	0	0	0
ピア活動	13	22	33	27	22	26
日常会話	96	55	86	105	96	71
その他	10	10	2	4	12	1
合 計	304	233	266	280	278	208

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
福祉サービス利用	1	7	14	2	2	11	70
障害・病状について	8	2	12	15	3	11	82
健康・医療関連	6	7	6	13	12	18	104
不安解消・情緒不安定	38	32	36	61	37	61	457
家族関係・人間関係	12	5	4	12	8	16	123
家計・経済	5	1	4	12	14	28	70
就労	6	8	13	6	7	12	114
社会参加・余暇活動	103	115	95	95	89	168	1,108
権利擁護	0	0	0	1	0	0	4
ピア活動	38	34	34	30	34	34	347
日常会話	34	29	35	33	38	50	728
その他	8	6	5	30	30	31	149
合 計	259	246	258	310	274	440	3,356

6 総括

地域活動支援事業においては、フリースペースやプログラム、ピア活動などのさまざまな場面で、サービスに繋がらない方々、余暇支援や居場所が必要な方々に対し事業の特長を十分に生かしたサポートを工夫することを心がけました。

コロナ禍が終息せず長引くことが懸念されますが、ウイルス感染のリスク対策を充分に行いつつできる限り制限を感じない活動になるよう工夫しました。

【就労支援事業】

1 就労相談

来所相談は、コロナ禍にもかかわらず、昨年度よりも33件少ない552件とほぼ同数でした。電話相談は1,088件で、昨年度に比べて402件も増加した。中でも6月、8月、11月、3月は1か月に100件以上の電話相談があった。原因としては、新型コロナウイルスの影響より、むしろ季節の変わり目の気温差等が精神状態に大きく影響しているように感じられる。

相談内容の特徴は、就労よりも生活面での相談が圧倒的に多い。例えば、就労していても、グループホームや職場、家庭等での人間関係がうまくいかず、生活面で多くの課題を抱える方や、一人暮らしから新たな生活に移行する段階で、様々な問題に直面し、関係機関と連携を図りながら継続的な支援を必要とする方などもいた。

県内において新型コロナウイルスの蔓延期間が長く続き、毎年定期的に行っていた関係機関との情報交換会は開催できなかった。一方でこれまで関わりが少なかった秦野市社会福祉協議会（きやっち。）や、こども家庭支援課、秦野警察署、平塚保健福祉事務所等と新たに情報交換や連携を深めることができたのは大きな収穫でした。さらには、市内の遺品整理専門会社から生活用品の無償提供をいただいた。

障害者の保護者と地域の福祉事業所を結ぶ場として、8月に予定した福祉事業所合同説明会は、新型コロナウイルスの影響で2年連続開催できなかった。

2 ゆめ散歩

ショップの年間売り上げは、昨年度に比べ、若干減少している程度で、大きな落ち込みはなかった。来店者数としては、コロナ禍で大型ショッピングモールへの買い物を控えている地域の方々の来店が増えた。年間を通してのイベントが無くなり、各事業所の売り上げが減少。各事業所の販売の場として、イオンの日では、新たに新店する事業所が増加した。

職業訓練の場としての就労体験の実習は、平均毎月2～3人でコンスタントに実施することができた。

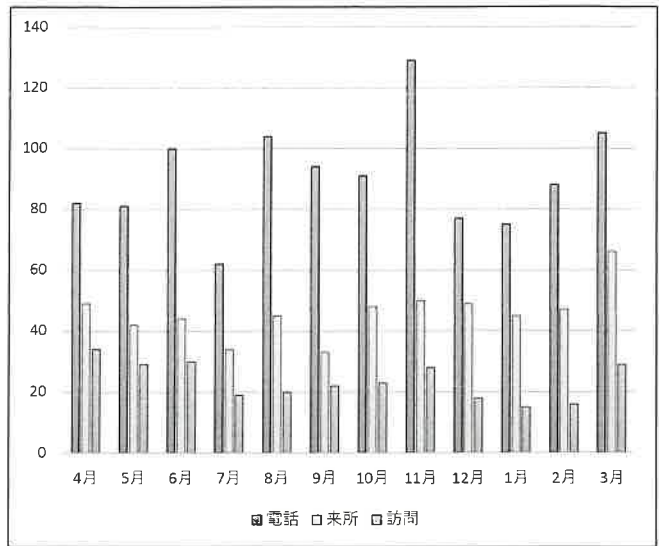
共同受注では、新たな事業（学校給食牛乳パックリサイクル）の説明会を実施したほか、秦野斎場では、プランターの植え替え業務以外に、ぱれっと・はだの利用者の絵画作品の展示や、市内事業所の自主製品の販売へと繋げることができた。

3 農福連携マッチング支援事業

2年目を迎え、農業者と福祉事業所の交流の場を設けたり、マッチングの場を作ったりし、4件の農家の仕事を福祉施設関係者などが体験した。さらに、複数の福祉事業所では、マッチングに成功し、実際に仕事を請け負ったところもあり、年度末には、農家と福祉事業所のマッチングの事例発表会等も開催した。

令和3年度 就労相談件数一覧表

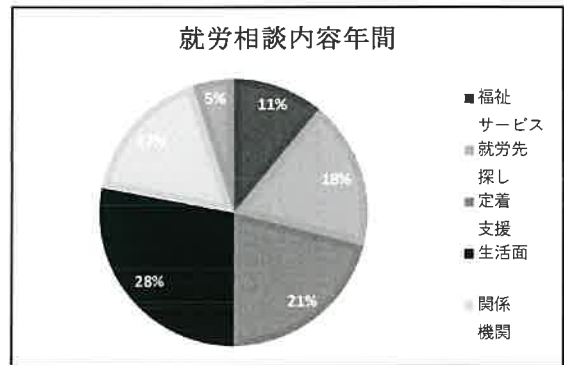
	電話	来所	訪問	月合計
4月	82	49	34	165
5月	81	42	29	152
6月	100	44	30	174
7月	62	34	19	115
8月	104	45	20	169
9月	94	33	22	149
10月	91	48	23	162
11月	129	50	28	207
12月	77	49	18	144
1月	75	45	15	135
2月	88	47	16	151
3月	105	66	29	200
合計	1,088	552	283	1,923



令和3年度 就労相談の内容

※複数相談あり

	福祉サービス	就労先探し	定着支援	生活面	関係機関	その他	計
年間計	290	476	569	734	467	136	2,672
年間率	11%	18%	21%	28%	17%	5%	100%



令和3年度における障害種別就労登録者数

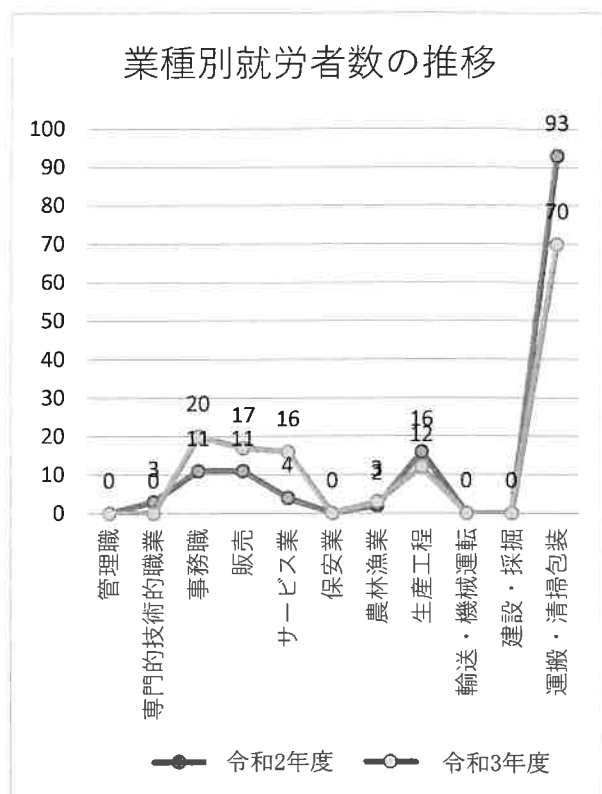
障害別	身体障害	知的障害	精神障害	合計
人数	5	27	35	67

令和4年3月末現在の利用者数

利用内容	延べ人数	(令和3年度のみ)
登録後 福祉サービス就労継続A型	15	(3)
登録後 福祉サービス就労継続B型	55	(12)
登録後 福祉サービス就労移行	8	(2)
登録後 一般就労(養護学校卒業生83名含む)	138	(23)
登録後 求職中	102	(34)
登録者総数 (身体26名+知的157名+精神135名)	318	
相談のみ(登録なし)	46	

業種別就労者数の推移

業種名※1)	令和2年度	令和3年度
管理職	0	0
専門的技術的職業	3	0
事務職	11	20
販売	11	17
サービス業	4	16
保安業	0	0
農林漁業	2	3
生産工程	16	12
輸送・機械運転	0	0
建設・採掘	0	0
運搬・清掃包装	93	70
合計	140	138



※1) 厚生労働省編職業分類による業種名

福祉サービスを利用していた78名の内、一般就労できた方が3名いました。

※ この3名は、精神障害者で事務系の仕事に就労しました。

〔転職者及び福祉サービスより就労した企業〕

二宮役場	花物語はだの	秀和ビルメンテナンス	プリネ	(株)ラオウモータース
昭和電工パッケージ	ハートフル農園	エステーティ	神農流通	イオン
龍屋物産	リンクライン	フリーデン	ヤオマサ(株)	秦野市役所
万葉倶楽部				

〔養護学校卒業生が就労した企業〕

ウェルシア	関東シモハナ(株)	丸源ラーメン	(株)菜の花	デニーズ
ニッパツハーモニー	サンライフホールディングス			

【ともしびショップ「ゆめ散歩」事業報告】

1 委託事業等

- (1) さかえちょう公園休養施設清掃等
令和3年4月1日～令和4年3月31日
- (2) 秦野市本庁舎等庭園管理業務
・フラワーポット（本庁舎・分庁舎・西庁舎）14個（弘済学園）
・本庁舎正門花壇及びモニュメント花壇の植替え、草花の管理（弘済学園）
- (3) 障害児在宅生活等応援事業
12月 心の贈り物（クリスマスプレゼント） 550個
- (4) 戸川公園花壇植え込み業務（神奈川県）
夏： くず葉学園 秋： 弘済学園
- (5) NEXCO中日本東名周辺及び高架下草刈業務
夏・かがやき 2か所、 くず葉学園 1か所
秋・かがやき 1か所
- (6) 秦野市の行事記念品作成等業務
10月17日 社会福祉大会 161個
- (7) 東名売店販売（中井パーキングエリア）（大根工芸）
- (8) 秦野斎場庭園等管理業務
・フラワーポット 7個（弘済学園）
・観葉植物リース 3鉢（くず葉学園）
・作品（絵画）展示（ぱれっと・はだの）
・自主製品展示販売（秦野ワークセンター）

2 各事業所自主製品の販売促進事業

- (1) 秦野市市営鶴巻温泉「弘法の里湯」内の売店「やまなみ」
[出品事業所] 大根工芸・くず葉学園・秦野ワークセンター・鶴巻工芸
- (2) 「イオンの日」展示即売会 実施日 毎月11日 ※2月（中止）
[出店事業所] 秦野精華園・弘済学園・ちっちゃな星の会・くず葉学園
松下園・いんくるネット・秦野ワークセンター
みんなの広場・鶴巻工芸・ゆめ散歩
- (3) 秦野市中央運動公園プール内自販機販売 実施日 7月17日～9月5日
自動販売機のみにて対応
- (4) 「イオン秦野店周年祭」展示即売会 実施日：11月11日
[出店事業所] ちっちゃな星の会・くず葉学園・秦野ワークセンター
秦野精華園・弘済学園・松下園・みんなの広場
いんくるネット・鶴巻工芸・ゆめ散歩
- (5) さかえちょう公園イルミネーションフェスティバル
(天空の星のみ点灯) 12月3日～26日
- (6) ポイントカード 年間使用枚数 59枚 (2,950円相当)

3 自動販売機管理事業

[実施事業所]

うぐいすの家	秦野市総合体育館 (2台)
かがやき	秦野市おおね公園 (2台)
当法人	公民館 (西、渋沢) (2台) ・ぱれっと (2台) 秦野市役所 (3台) ・さかえちょう公園施設 (1台)

4 さかえちょう公園・ゆめ散歩における各種イベント

7月6日～7日	七夕まつり	飾り付け参加事業所	15事業所
		かがやき・秦野精華園・くず葉学園・大根工芸・やまばと学園・	
		うぐいすの家・秦野ワークセンター・あすなる会・鶴巻工芸・	
		みのりの家・ちっちゃな星の会・ひまわり・みんなの広場・	
		みんなの広場Ⅱ・ファミリー生活介護	

5 ともしびショップ ゆめ散歩内就労

(1) 関係事業所	3名 (知的)
(2) 秦野養護学校アセスメント	2名 (知的)
(3) 平塚養護学校アセスメント	3名 (知的)
(4) 直Bアセスメント	6名 (精神 5名、知的 1名)
(5) インクルーシブ校	1名 (知的)

6 就労実績

・二宮町役場 (清掃)	1名 (精神)
-------------	---------

7 その他活動

(1) 東日本大震災支援活動	(3月11日) イオン販売 宮城県南三陸町産 生わかめ、焼きのりを販売
(2) 受注活動	宅配ずし「銀のさら」箸セットの袋詰め

8 協力事業等

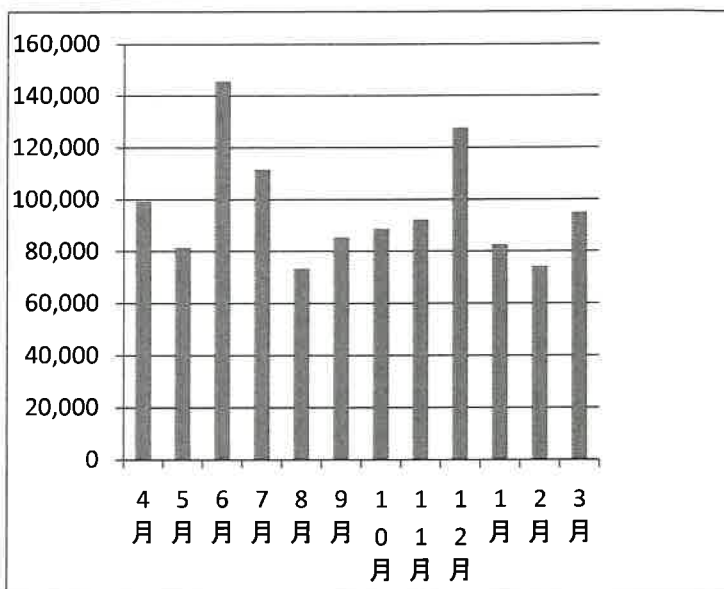
令和3年8月21日	福祉事業所合同説明会 (中止)
令和4年2月12日	事業所職員研修会 (中止)

3年度ゆめ散歩売上状況

月別売り上げ

単位:円

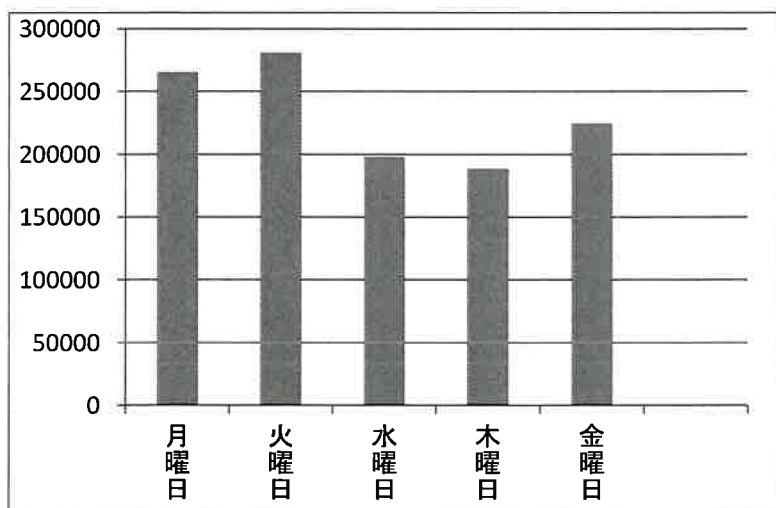
4月	99,445
5月	81,570
6月	145,735
7月	111,670
8月	73,550
9月	85,570
10月	88,745
11月	92,380
12月	127,745
1月	82,725
2月	74,345
3月	95,110
計	1,158,590



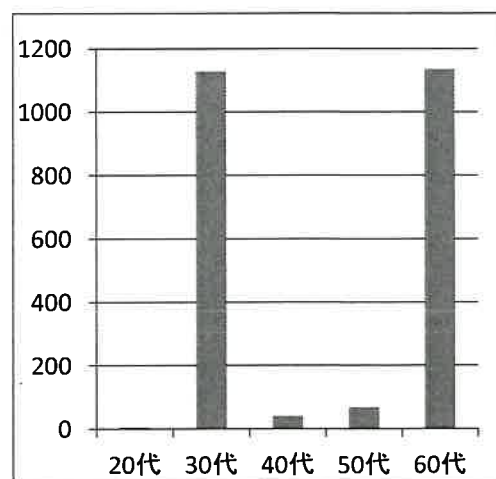
月別商品売上順位

月	1位	2位	3位	4位	5位
4月	野菜	焼き菓子	パン	布雑貨	豆腐
5月	野菜	焼き菓子	豆腐	パン	豆腐
6月	野菜	焼き菓子	豆腐	布雑貨	餃子
7月	野菜	焼き菓子	豆腐	布雑貨	秦野の水
8月	野菜	焼き菓子	豆腐	布雑貨	秦野の水
9月	野菜	焼き菓子	豆腐	布雑貨	秦野の水
10月	野菜	焼き菓子	豆腐	布製品	餃子
11月	野菜	焼き菓子	布製品	豆腐	パン
12月	野菜	焼き菓子	布雑貨	豆腐	パン
1月	野菜	焼き菓子	パン	豆腐	布製品
2月	野菜	焼き菓子	豆腐	椎茸	パン
3月	野菜	焼き菓子	豆腐	布雑貨	布製品

曜日別売上表



年代別来客数



令和3年度 決算(案)

第2号議案

< 一般会計 >

		当初予算(A)	補正予算(B)	決算額(C)	差額(C-B)	摘 要
① 総務						
収 入	繰り越し金	7,763,637	7,163,051	7,163,051	0	
	市運営費補助	13,874,000	13,874,000	13,874,000	0	
	会費	568,000	598,000	598,000	0	正会員18・賛助会員11
	NPO法人負担金	600,000	600,000	600,000	0	事務取扱経費
	雑入	600,000	920,000	661,637	△ 258,363	区分認定調査を含む
	事務的経費分担金(相談)	2,485,000	4,110,000	4,091,680	△ 18,320	
	事務的経費分担金(地活)	200,000	0	0	0	
	事務的経費分担金(就労)	300,000	0	0	0	
合計		26,390,637	27,265,051	26,988,368	△ 276,683	
支 出	事務用消耗品購入費	700,000	700,000	718,687	18,687	除菌用品を含む
	車両維持管理経費	600,000	650,000	665,544	15,544	燃料費、保険料等
	建物等維持管理費	7,000,000	7,300,000	7,074,474	△ 225,526	保守・光熱水費・感染予防対策含む
	借入金返済(建設事業借入)	2,000,000	1,928,000	1,923,332	△ 4,668	
	報酬費	6,900,000	6,900,000	6,900,000	0	
	理事等活動経費	780,000	780,000	780,000	0	
	理事会経費	100,000	80,000	59,143	△ 20,857	3回開催(うち2回は書面)
	研修会経費	500,000	180,000	1,752	△ 178,248	
	普及啓発費	700,000	50,000	20,000	△ 30,000	
	労務・会計管理費	850,000	850,000	639,300	△ 210,700	
	NPO法人業務協力金	2,000,000	1,400,000	1,400,000	0	業務への協力金
	販売受託へ繰り出し	769,000	2,046,000	2,166,789	120,789	
	就労支援へ繰り出し	0	961,000	189,449	△ 771,551	
地域活動へ繰り出し	0	400,000	45,607	△ 354,393		
予備費	3,491,637	3,040,051	0	△ 3,040,051		
合計		26,390,637	27,265,051	22,584,077	△ 4,680,974	
収支差額		0	0	4,404,291	4,404,291	

		当初予算(A)	補正予算(B)	決算額(C)	差額(C-B)	摘 要
② 相談支援						
収入	市相談支援委託料	23,810,000	23,810,000	23,810,000	0	
	相談自主事業収入他	2,985,000	4,200,000	4,587,220	387,220	計画相談、指定寄付を含む
合計		26,795,000	28,010,000	28,397,220	387,220	
支出	人件費(相談員4名・総務2名)	23,400,000	23,400,000	23,763,742	363,742	権利保障実践業務含む
	相談事業諸費	660,000	250,000	338,298	88,298	
	パソコン備品等	250,000	250,000	203,500	△ 46,500	緊急時対応・研修等を含む
	事務的経費分担金	2,485,000	4,110,000	4,091,680	△ 18,320	
合計		26,795,000	28,010,000	28,397,220	387,220	
収支差額		0	0	0	0	

		当初予算(A)	補正予算(B)	決算額(C)	差額(C-B)	摘 要
③ 地域活動						
収入	市地活運営委託	11,502,000	11,502,000	11,749,000	247,000	基本事業分
	地域活動収入	400,000	260,000	64,200	△ 195,800	利用者一部負担、ピア活動加算等
	総務より繰り入れ	0	400,000	45,607	△ 354,393	
合計		11,902,000	12,162,000	11,858,807	△ 303,193	
支出	人件費(相談員4名)	11,302,000	11,302,000	11,096,833	△ 205,167	
	地域活動雑費	400,000	860,000	761,974	△ 98,026	ピア活動費含む
	事務的経費分担金	200,000	0	0	0	
合計		11,902,000	12,162,000	11,858,807	△ 303,193	
収支差額		0	0	0	0	

		当初予算(A)	補正予算(B)	決算額(C)	差額(C-B)	摘 要
④ 就労支援						
収入	市就労等支援事業委託	15,096,000	15,096,000	15,096,000	0	
	就労支援事業雑収入	3,000	3,000	402,500	399,500	社協より農福連携協力金他
	総務より繰り入れ	0	961,000	189,449	△ 771,551	
合計		15,099,000	16,060,000	15,687,949	△ 372,051	
支出	人件費(支援員5名・総務1名)	12,339,000	13,500,000	13,131,167	△ 368,833	
	ま木就労支援員等助成	2,260,000	2,260,000	2,260,000	0	
	印刷製本費	100,000	0	0	0	
	就労支援事業諸費	100,000	100,000	101,582	1,582	旅費・交通費・保険料
	普及啓発費	0	200,000	195,200	△ 4,800	啓発事業用テント等
	事務的経費分担金	300,000	0	0	0	
合計		15,099,000	16,060,000	15,687,949	△ 372,051	
収支差額		0	0	0	0	

		当初予算(A)	補正予算(B)	決算額(C)	差額(C-B)	摘 要
⑤ 販売・受託（共同受注等）						
収 入	ゆめ散歩売上	2,000,000	1,173,000	1,155,640	△ 17,360	休業による売上減
	事業収入(共同受注・自販機)	5,500,000	4,788,000	4,843,253	55,253	Xmas・高齢ホラ・東名草刈舎
	公園管理受託	275,000	308,000	308,000	0	さかえちよう公園
	にじ散歩売上	6,200,000	7,976,000	7,510,295	△ 465,705	
	総務より繰り入れ	769,000	2,046,000	2,166,789	120,789	
合計		14,744,000	16,291,000	15,983,977	△ 307,023	
支 出	ゆめ散歩仕入	1,500,000	920,000	1,033,500	113,500	
	ゆめ散歩利用者賃金	300,000	120,000	71,351	△ 48,649	
	共同受注・自販機管理	4,500,000	3,502,000	3,637,946	135,946	草刈・花壇植替え等
	自販機電気料	400,000	353,000	312,581	△ 40,419	
	にじ散歩仕入	3,000,000	4,648,000	4,411,134	△ 236,866	
	人件費(支援員1名・にじ散歩)	4,700,000	6,016,000	5,921,232	△ 94,768	
	ゆめ散歩・にじ散歩雑支出	344,000	732,000	596,233	△ 135,767	店舗維持運営経費
合計		14,744,000	16,291,000	15,983,977	△ 307,023	
収支差額		0	0	0	0	

※参考

	令和3年度予算	令和3年度補正	令和3年度決算
-一般会計総収入(特別会計を除く)	94,930,637	99,788,051	98,916,321
-一般会計総支出(同上)	94,930,637	99,788,051	94,512,030
差額	0	0	4,404,291

< 特別会計 >

※基金の動き

⑥ 地域生活支援基金	平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末見込
増 減	4,000,000	1,504,068	595	236	101
累 計	5,500,000	7,004,068	7,004,663	7,004,899	7,005,000

令和4年3月31日

上記のとおり報告します

理事長

藤村 和 静 

事務局長

越光 森 茂 

令和3年度会計監査結果報告書

一般社団法人秦野市障害者地域生活支援推進機構

令和3年度収支決算について、証拠書類と貸借対照表など諸帳簿について監査したところ、正しく処理されており、すべて適正であった事を証明します。

令和4年5月17日

監事 宮本 英子

